

「学ぶ力」	
これまでの 成果	課題
◇◇言語によるコミュニケーション活動の充実やICTの効果的な活用 ◇「わかる・できる・楽しい」と感じることで授業づくり →○意見の違う人とも、よく話し合おうとしている（全校 82.3% ※市 80.0%） ○端末を使う活動で、自分の意見を進んで伝えようとしている（全校 71.2% ※市 70.5%） ○自分には良いところがある（全校 81.4%※前年 78.1%） ○自分が必要とされていると感じる（全校 65.8%※前年 61.7%） ○分からないことがあったときに友達や先生に聞くようにしている（全校 86.2% ※前年 81.0%）	◇自分の「伸び」を実感する場面の設定と振り返りを通し新たな目標をもつこと →●振り返りを通して自分の伸びや成長を感じる（全校 69.1% ※市 74.7%） ●振り返ったことを次に生かそうとしている（全校 80.2% ※市 82.8%） ◇課題探究的な学習を通し、学びがいや学ぶことの楽しさを感じることに →●自分の目標をもって生活している（全校 70.3% ※市 72.5%） ●難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している（全校 60.4% ※市 66.3%） ◇自治的な活動の充実
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題 ◇◇札幌市全体の共通指標生徒アンケートより、意見の違う人との対話や学習で困っている友達とも協働的に学習しようとする生徒が多い。 ◆一方で、「自分の意見を進んで発言しようとしている」は全校で 53.8%（※市 58.4%）であり、自信をもって意見を伝えられない生徒も少なくない。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

- ①相互承認の感度を高め協働的な学習を活性化させるためのコミュニケーションスキル
- ②自分の「伸び」を実感し、新たな目標をもつための振り返りスキル



〈本プログラムの実行に向けて〉

